

前田よし子からバトンタッチ！



バトンをつなぐ、 子どもの未来のために

新型コロナウイルス感染拡大が人と人の関わり方を一変させ、息苦しさを感じている方も多いのではないのでしょうか。子ども、女性、外国人など、あらゆるマイノリティの側にいる人々の生きづらさが社会構造の問題として浮き彫りになっています。それを自己責任、自助という言葉で済ませようとしている政治に私は怒りを感じています。社会の仕組みを少し変えることで、解決することがたくさんあります。政治はその希望のツール。市議会議員・前田よし子からのバトンをつなぎ、子どもの未来につながる提案を続けていきます。

2023年 八王子市議会議員選挙
に向けて 擁立決定

八王子・生活者ネットワーク 政策委員

金子アキコ

多様性を認め合う

一人ひとりが
大切にされる
まちへ



こんなまちを目指します！

子どもの権利

ジェンダー平等

気候危機対策

- ① 大事なことは市民が決める**
- ② 子どもが主役！すべての子どもがのびのび育つまちへ**
▼子ども参画で、子どもの権利条例をつくります
▼学校給食の無償化をすすめ、地場野菜やオーガニック食材など安全な食材を使用します
▼学校と民間のフリースクール等との連携をすすめ、多様な学びの機会と居場所をふやします
- ③ 多様性を認めあい、ジェンダー平等社会を実現する**
▼意思決定の場を男女 50/50 にします
▼セクハラ、DV、性暴力のない社会をつくります
▼偏見・差別をなくし多様な性を認め合う社会をつくります
- ④ 自分らしく生きるためのケアを、介護するひとにも、ケアを**
▼子育て・介護をひとりにならない。ケアラー支援条例を策定します
▼身近な地域で、その人の暮らしを支える総合的な医療「プライマリ・ケア」を推進します
- ⑤ 安心して生きるための暮らしを保障する**
▼住まいは人権！すべての人に暮らしの基盤を保障するしくみをつくります
▼制度の狭間でこぼれおちることがないように、セーフティネットを強化します
- ⑥ 地域で働く！地域循環型コミュニティ経済へ**
▼ワーカーズ・コレクティブなど、多様な働き方を支援します
▼就職が困難な人の働ける場を地域に！社会的企業や「ソーシャル・ファーム」を育てます
- ⑦ まったなし！気候危機対策 みどりを守り、命を守る**
▼原発ゼロ！食もエネルギーも地産地消をすすめます
▼自治体は事業所としてRE100（再エネ100%）を目指します
▼女性の視点や多様なニーズに配慮した、災害対策をすすめます
- ⑧ 平和憲法を活かし 戦争のない社会をめざす**

<金子アキコ・プロフィール>

- 南大沢在住
1976年 北海道室蘭市生まれ
2000年 国際基督教大学教養学部社会科学科卒業
2005年 第一子妊娠を機に、食の大切さに気付く
野外保育・共同保育を実践する森のよう
じえんに子どもたちと通う
2015年～生活クラブ生協「デポー八王子みなみ」
ワーカーズコレクティブかみつれのメン
バーとして働く。
2020年～保育士を目指しながら保育施設で働く。
2021年保育士資格取得
- 夫と子ども3人の5人家族
- 趣味 山歩き、焚き火、BTS

前田よし子からローテーション！



八王子・生活者ネットワークは2名の女性議員を持つローカルパーティ
3つのルール
① 議員は2期8年ローテーション
② 議員報酬は市民の政治活動資金に
③ 選挙はカンパとボランティアで

○八王子・生活者ネットワーク 金子アキコの活動を紹介します。 はつらつレポート NO.183 2022年9月15日号 発行責任者：川合幸子



政治は暮らしを豊かにするツール！

八王子・生活者ネットワーク



〒192 0066 八王子市本町3 4 TRVビル3階 ■TEL 042 623 8802 ■FAX 042 627 4507 ■メ ル: haichiouji_net@nifty.com



質疑動画は
こちらから

きだ あや

ジェンダー平等の実現に必要なものは

八王子市は（仮称）八王子市男女共同参画推進条例の制定に向けて昨年5月から検討会を行ってきました。4月には「（仮称）八王子市男女共同参画社会の実現を目指す条例素案」が出され、パブリックコメントを実施しました。社会の仕組みを適正にし、女性の権利、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、差別のない社会をめざす条例にしたいとの思いから質問しました。

条例の理念 条例名と前文は理念を表すものであるが、素案の名称は八王子市男女共同参画社会の実現を目指す条例となっている。男女共同参画の目的は、ジェンダー平等の実現であり、ジェン

ダー平等であって初めてすべての人が真に対等なパートナーとして協働して社会に参画することができる。男女共同参画はジェンダー平等の手段であることから、男女共同参画のみにこだわることではなく、目指すものはジェンダー平等（男女平等）として条例名にし、前文にも入れ込むべきである。

体制の整備 ジェンダー平等施策を市の主要な施策として位置付けるとともに全庁的な取り組みとも連携しながら推進していくためには、男女共同参画センターを条例に位置付け、体制整備の前提となる財政上の措置についても明記すべきである。

審議会 素案では審議会の組織及び運営は規則で定めるとしているが、審議会は基本理念実現のために極めて重要な役割を担う市長の付属機関であることから、条例に章立てをし、設置・所掌事項・組織・任期・権能等の詳細を明記するよう求めた。

苦情処理体制 素案は「苦情の申し出を受けた場合は適切な措置を講ずるものとする。」「処理を行うために必要な

体制を整備するものとする」としか定めていない。しかしながら、苦情処理体制は市民の権利擁護、条例の実効性の確保のために極めて重要であることから、審議会と同様に、章立てをし、申し出の範囲、組織、所掌事項、権能等を明記すべきであると求めた。

★「パブコメにも寄せられているのでこれから検討する」との答弁だが、この条例は性別による差別を適正にし、市民の人権を保障するもので市民の生活に大きくかかわってくるものであるため、条例策定の過程では再びパブリックコメントを行い、開かれた場でいろいろな人と議論をしていく必要があることを求めた。

東京都労働相談情報センターを八王子に残して

都議会では、9月30日で東京都労働相談情報センター八王子事務所が廃止となる条例が可決した。今後、立川市に機能が充実した労働相談情報センターができて、八王子の立地の良さを生かして分室でもいいので残すよう東京都に働きかけるよう求めた。



質疑動画は
こちらから

前田 よし子

脱プラスチック生活をめざして

●水が飲める、水を汲める環境整備を

マイボトル推奨、給水スポットの周知、使いやすい水飲み栓（飲み口栓とボトルディスペンサー式が一緒になったもの）の設置を求め、ペットボトル飲料をなるべく買わない暮らし方を提案した。

●マイクロプラスチック問題への取り組み

「みんなの川の清掃デー」や、「水辺の見護り制度」登録団体の活動（クリーンアップ、生き物調査、水質調査等）と連携協力し、集めたゴミの簡単な組成調査の報告と情報公開、マイクロプラスチック調査のノウハウ、グッズ提供等の支援を行い、対策を進めていくべきと提案した。

●製品プラスチックの片付け方

Q 4月からプラスチック資源循環法が施行され、自治体は、容器包装プラスチックだけでなく、製品プラについても収集し、その後事業者によって再商品化することが努力義務化された。本市では現在、資源プラのみ回収し、製品プラは可燃ごみとして燃やしている。今後2年間かけて策定する「ごみ処理基本計画」「清掃施設整備計画」の内容と長期的なビジョンと、LCA（ライフサイクルアセスメント）の観点について見解は。

A 基本理念である循環型都市八王子の実現に向け、社会情勢の変化、今後の技術革新、国や都の動向を反映し、本市の課題である、プラスチック、食品ロス対策、生ごみ資源化、清掃施設におけるゼロカーボン対応など、民間企業の導入の可能性などを検討し、長期的目標であるゴミゼロを目指していく。LCAの観点は、廃棄物の処理パターンの検討において、非常に重要。今後策定する計画では、LCAの手法を活用し、CO2排出量の抑制とコストについて、パターン別に相対的な比較評価を行っていく。

エネルギーに関する計画を

「地球温暖化対策地域推進計画」改定の中で、公共施設の再エネ化、民間も含めた再エネ導入率、ごみ発電の役割、山林整備の間伐材を利用した薪ボイラー設備の導入など、地産地消電力も含めたエネルギーの考え方を示してゆくべきと考える。2030年までの計画だが、より短期的な目標をたて、分野別に削減目標などわかりやすく見える化して示すべき。

学校給食から食料安全保障を考える

●オール米飯

国内で生産される米・麦・大豆の自給率をあげていくためにも、日本の生産者を応援していくことが重要であり、学校給食の取り組みとして寄与できる。

●牛乳を選択制へ

残渣の多い牛乳の食品ロス対策、残さない工夫等。

●八王子産野菜・オーガニック野菜を皮まで食べよう

栄養価の高い皮までまるごと食べる、下処理作業削減によって、オーガニック野菜導入のハードルを下げる。